

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道380号 <small>おだ</small> 小田バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	愛媛県				
起終点	白：愛媛県上浮穴郡小田町日野川 至：愛媛県上浮穴郡久万町父野川				延長	5.7 km				
<p>事業概要：一般国道380号は、愛媛県八幡浜市を起点として国道197号、国道56号、国道379号を重用し久万町で国道33号に至る、延長約22kmの幹線道路である。 小田バイパスは、車両のすれ違いが困難な幅員狭小箇所や防災点検危険箇所を含む区間を整備し、地域間の交流・連携強化や地域の活性化を目指すとともに大規模木材流通加工基地へのアクセス性向上を図るなど、主要な産業である農林業の振興・発展に寄与するものである。</p>										
H6年度事業化		H-年度都市計画決定 (H-年度変更)		H7年度用地着手		H7年度工事着手				
全体事業費	90億円		事業進捗率	20%		供用済延長	0.5 km			
計画交通量	4,200台/日									
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.3		総費用 (残事業)/(事業全体)	62/85億円		総便益 (残事業)/(事業全体)	90/109億円		基準年 平成15年
	(残事業)	1.5		事業費	58/80億円		走行時間短縮便益	83/101億円		
				維持管理費	4/5億円		走行費用減少便益	6/7億円		
							交通事故減少便益	1/1億円		
<p>事業の効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> 物流効率化の支援（農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上） 国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する）他7項目 										
<p>関係する地方公共団体等の意見</p> <p>国道379号・380号改良促進期成同盟会（伊予・上浮穴・喜多郡の4市1町）による事業促進の強い要望があるほか、地元も事業実施に協力的である。</p>										
<p>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</p> <p>地場産業である林業の振興・発展により大型トラックの通行台数が増加するとともに、四国遍路による歩行者数も増加し、安全対策がますます深刻化してきている。</p>										
<p>事業の進捗状況、残事業の内容等</p> <p>事業の進捗率は18.5%（事業費換算）となっており、平成13年度までに463mを供用している。</p>										
<p>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</p> <p>全体事業延長が5.7kmと長いうえ、トンネル・橋梁等の構造物の計画があり、長期の事業期間を要するが、防災点検危険箇所などの緊急性の高い区間から整備を進めその効果の早期発現に努める。</p>										
<p>施設の構造や工法の変更等</p> <p>事業費の削減を図るためルートの見直しを検討中。</p>										
<p>対応方針：事業継続</p>										
<p>対応方針決定の理由</p> <p>以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>										
<p>事業概要図</p> <p>小田バイパス L=5.7 km</p> <p>H9部分供用(2/2) L=250m</p> <p>H13供用(2/2) L=200m</p> <p>小田町</p> <p>例 供用中 再評価箇所 うち供用中</p>										

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。